

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課
 担当名: みどり復活・保全担当
 内線: 3151 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業
B41	身近な緑の保全事業費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	身近な緑の保全・創出事業費
事業期間	平成4年度～	根拠法令	ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例			戦略項目	10 みどりと川の再生	
						分野施策	040101 みどりの再生(身近な緑の保全・創出・活用)	
1 事業概要				5 事業説明				
<p>本県の平地林の減少に歯止めをかけるため「埼玉県広域緑地計画」の施策を展開し、計画的に保全を図る必要がある。</p> <p>そこで、売却・開発が行われてしまう緑地(景観地等)を市町村と協力して公有地化し保全する。また、市民管理協定締結団体が継続的に活動できるよう支援する。</p> <p>(1) 身近な緑公有地化事業 △27,635千円 用地取得費が見込みを下回ったことによる減</p> <p>(2) 里の山守活動支援事業 △758千円 交付額が当初の見込みを下回ったことによる減</p> <p>(3) 埼玉県広域緑地計画の策定 △10,569千円 入札差金発生に伴う委託料の減</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 身近な緑公有地化事業(4月～3月) 公有財産購入費及び土地売買契約に貼付する収入印紙代 50,838千円 → 23,203千円</p> <p>イ 里の山守活動支援事業(7月～3月) 機材、消耗品の購入及び講習会費用などに対する補助 1,434千円 → 676千円</p> <p>ウ 埼玉県広域緑地計画の策定(4月～3月) 広域緑地計画の策定に要する委託料等 27,493千円 → 16,924千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 身近な緑公有地化事業 適宜適切に公有地化を行い、樹林地の保全を図る。</p> <p>イ 里の山守活動支援事業 平成28年度未までに20ha(平地林保全促進事業による支援面積を含む。)</p> <p>ウ 埼玉県広域緑地計画の策定 計画期間 平成29年度～38年度</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>市町村と協力して緑地を保全することにより、ヒートアイランドを抑制することができる。</p> <p>ア 公有地化により保全できる緑地面積 0.8ha → 0.5ha</p> <p>イ 活動支援により保全できる樹林地の面積 8.7ha → 2.8ha</p> <p>ウ 埼玉の緑の将来像、身近な緑の保全と創出に向けた施策を示す。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>ア 身近な緑公有地化事業 市町村と連携し公有地化し、取得後の土地を市町村が管理する。</p> <p>イ 里の山守活動支援事業 市民団体は支援期間内に保全管理に関する体制を確立し、支援終了後も引き続き樹林地の管理を行う。</p> <p>ウ 埼玉県広域緑地計画の策定 プロポーザル方式による民間事業者のノウハウの利活用</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア 身近な緑公有地化事業: 用地取得費が見込みを下回ったことによる減額。 △27,635千円</p> <p>イ 里の山守活動支援事業: 補助金額が当初の見込みを下回ったことによる減額。 △758千円</p> <p>ウ 埼玉県広域緑地計画の策定: 広域緑地計画改定業務委託における入札差金発生に伴う減額等。 △10,569千円</p>				
2 事業主体及び負担区分 県10/10								
3 地方財政措置の状況								
<p>(1) 地方債 一般単独事業(地域活性化事業)</p> <p>(2) 地方交付税(包括算定経費)(区分)企画費(細目)環境保全対策費(細目)環境保全対策費(積算内容)地域の実情</p>								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.8人=17,100千円								
				財 源 内 訳				
予算額		繰入金	諸収入	県債			一般財源	補正後の 予算額
決定額	△38,962	△13,867	△95	△25,000			0	40,803
現計額	79,765	34,670	95	45,000			0	